

令和3年11月24日

厚生労働大臣
後藤 茂之 殿

東京オリンピック競技大会・
東京パラリンピック競技大会担当
ワクチン接種推進担当大臣
堀内 詔子 殿

東京都知事
小池 百合子

新型コロナウイルスワクチンの追加接種に関する要望

現在、新型コロナウイルスの感染状況は落ち着きを見せているが、今後の第6波の到来を見据え、来月から開始となる追加接種を着実に進めていくことは重要である。

先週、国においては、追加接種の間隔を原則8か月以上とする方針が示されたが、都が独自で行った抗体保有調査では、ワクチン接種後7か月程度経過すると、抗体価がすべての年代で低下し、年齢が高くなるに伴って低い値となっている。

こうしたことを踏まえ、今後、追加接種を円滑に実施していくことができるよう、下記の事項に関し、特段の措置を取られるよう要望する。

記

- 1 現在、ファイザー社ワクチンを中心に接種体制を整備している区市町村が混乱なく接種を進めていけるよう、ファイザー社ワクチンについて、必要な量を安定的に供給すること。

- 2 今後予想される交接種について、1、2回目と異なるmRNAワクチンを追加接種した際の効果や副反応などについて、広く国民に対しわかりやすく情報発信を行うこととともに、地方自治体に対して必要な情報を迅速に提供すること。

- 3 ワクチンの接種間隔について、都の調査結果等も参考に、重症化リスクの高い高齢者などに対しては、地域の状況や感染リスクに応じた柔軟かつ弾力的な対応ができるよう検討すること。